

令和8年3月16日

八尾市議会議長
竹田孝吏様

建設産業常任委員長
西田尚美

建設産業常任委員会 所管事務調査報告書

本委員会は去る令和7年6月19日の委員会において、閉会中の継続調査を議決した。調査テーマは、「産業政策に関する課題と現状及びアウトカム指標に基づいた評価手法」に決定し、調査を開始した。このたび、テーマについて委員会として取りまとめを行ったため、最終報告を行う。

調査の概要については、下記のとおりである。

1 調査日

(1)建設産業常任委員会

令和7年 8月 7日	執行部から現状等の説明、質疑
令和8年 3月16日	報告書等の確認

(2)建設産業常任委員協議会

令和7年 6月19日	協議
令和7年 8月 7日	協議
令和7年12月 8日	執行部から現状等の説明、質疑
令和8年 3月 3日から3月10日まで	書面にて協議
令和8年 3月13日	協議

(3)視察調査

令和7年10月29日	岐阜県各務原市
令和7年10月30日	岐阜県関市

2 調査概要

(1)「産業政策に関する課題と現状及びアウトカム指標に基づいた評価手法について」

本市の産業政策は、中小製造業を中心とした地域産業の維持・発展を目的に展開される一方、施策効果の可視化やアウトカム指標の設定及び検証手法の整備が課題である。

近年は、大阪・関西万博を契機に、本市の中小製造業の高い技術力や製品を国内外へ積極的に発信し、認知度向上を通じて産業振興につなげる政策を展開している。

また、「みせるばやお」では企業展示や交流を通じた企業間連携を促進し、イノベーション拠点として機能している。

本調査に当たり、当委員会として、まず、本市の産業政策の現状把握のため、執行部から概要等の資料提供並びに説明を受けた。本市の産業を取り巻く状況、産業政策の効果や課題等について確認を行うとともに、委員間で協議を重ねた。

3 委員会として一致した意見

ア. KPI・KGI連動による産業政策評価の推進について

産業政策の進捗と効果を把握し、政策改善と人的・財政的資源の効率的活用を図るため、施策の進捗を示すKPIと最終成果であるアウトカムを示すKGIを連動させた評価体系を構築するよう求める。また、評価指標を分かりやすい形で整理・公表することにより、政策効果の可視化と透明性の向上を図るとともに、本市の目指す将来像の共有を検討されたい。

イ. ものづくり人材育成の推進について

八尾市では若年層の製造業離れや人材流出、後継者不足が課題である。企業技術者による実践授業や工場見学、長期インターン、DX教育など、学校と企業の連携を推進する取組を研究、検討されたい。ものづくりへの理解が進み、産業人材の確保を図り、地域産業の持続的発展につながることを期待する。

ウ. 「みせるばやお」の利用の在り方整理と運営検証について

「みせるばやお」は子供が地域企業の技術やものづくりの魅力に触れる施設として整備された背景があるが、地域の学校との連携プロジェクト数の伸びが鈍化している。子供、健康福祉、環境、教育など他分野と連携することで多世代が参加可能な体験・交流機会を拡充し、市民が幅広く利用できる場として、より公益的な機能が発揮できる利用の在り方を整理するよう求める。あわせて、賃借料に対する費用対効果の検証ができるよう、取組成果のさらなる可視化をするとともに、「みせるばやお」の活動原点である、子供たちのクリエイティブを育む活動を学校現場との連携をはかり推進することを求める。